

岐阜県理学療法士会会員各位

映画『栞』の上映案内

2/2(土)～2/15(金)まで、岐阜柳ヶ瀬のCINEXにて上映

映画『栞』を撮った榊原有佑監督は元理学療法士の経歴を持っています。この作品は、監督自身の経験をもとに紡いだ物語なので、主役は理学療法士です。その理学療法士を三浦貴大さんが演じています。

患者さんをよくしたいと思っても、自分ではどうすることもできない、そんな苦悩・葛藤している理学療法士が多くいます。映画『栞』で思わされるのは、理学療法士が抱える圧倒的な無力感です。でも、患者さんの痛みや苦しみを知り、気持ちに寄り添う、それだけでも患者さんは救われるのかもしれない。そして理学療法士が背負う無力感は、周りに分かち合ってくれる仲間がいれば救われるのかもしれない。・・・そんなことを感じる映画です。

この映画は、理学療法士や、これから理学療法士を目指す学生、中高校生、医療関係者、患者さん含め理学療法に関わったことのある方に見てもらいたい映画です。映画館に足を運んで頂ければ幸いです。

岐阜県理学療法士会
舟木一夫



映画「栞」 榎原有佑 監督からのメッセージ

岐阜県理学療法士協会の皆様へ

初めまして、映画「栞」監督の榎原有佑と申します。

私は 2010 年まで三重大学医学部附属病院に理学療法士として勤務しておりました。この映画「栞」というのは、その理学療法士時代の臨床経験を元に脚本を書き起こし制作した映画になります。おそらく理学療法士が主演の映画は世界でも初めてだと思っており、この映画をきっかけに「理学療法士」の存在がより周知されることを願っています。

今作は昨年の 2018 年 4 月に北京国際映画祭でプレミア上映され、2018 年 10 月 26 日から全国 13 館で上映しておりました。当初、劇場上映は1週間～2週間程度の予定だったのですが公開後徐々に評判を呼び、多くの劇場で上映延長を達成することが出来ました。そして今回、岐阜県理学療法士協会さんのお力添えもあり、岐阜市 CINEX さんにて 2 月 2 日(土)～2 月 15 日(金)までの2週間映画「栞」を上映することとなりました。

スタッフ・キャスト一同、本当に誠心誠意魂を込めて作った映画になります。現役の理学療法士の先生方はもちろんですが、それ以外の多くの人に映画に込めた想いが届くように願っています。この映画の取り組みや、実際に映画を劇場でご覧になって感じるものがあれば、どうかこの映画「栞」を応援して頂ければ幸いです。

どうぞよろしく願いいたします。

映画監督 榎原有佑